

2019年3月1日

各位

会社名 株式会社ダイキアクシス
代表者名 代表取締役社長 CEO 大亀 裕
(コード番号: 4245 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 CFO 経営管理本部長 堀淵 昭洋
(TEL: 089-927-2222)

新製品発売のお知らせ

当社は、この度、窒素・リン除去型浄化槽「XF型」を新製品として発売することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新製品名
窒素・リン除去型浄化槽「XF型」

2. 新製品の内容

当社は「PROTECT×CHANGE」(環境を守る。未来を変える。)をコーポレートスローガンとし、水にかかわるインフラを創造するとともに将来のコアビジネスを目指し、地球環境への負荷低減や環境保全について意欲的に取り組んでおります。

この度の新製品開発は、環境機器関連事業セグメントにおける排水処理分野ですが、この分野の製品は、従来より価格面はもとより、施工性、維持管理性および高性能化が求められております。

当社では、従来より生活排水のリン除去には51人槽以上の大型排水処理システムのみで対応してまいりましたが、茨城県、福島県、神奈川県などの限られた地域ではありますが排水規制の強化もあり、この度、家庭用浄化槽でもラインナップすることといたしました。

この製品は、浄化槽に薬液を注入し、リンを除去する方式です。構造をシンプルにしたことで容易な維持管理を可能とし、また、全高を低くすることで掘削等の施工性を考えた製品といたしました。

<外観・イメージ>



リン除去装置と浄化槽とを付属の電線管で接続し、PAC移送チューブを通します。



リン除去装置

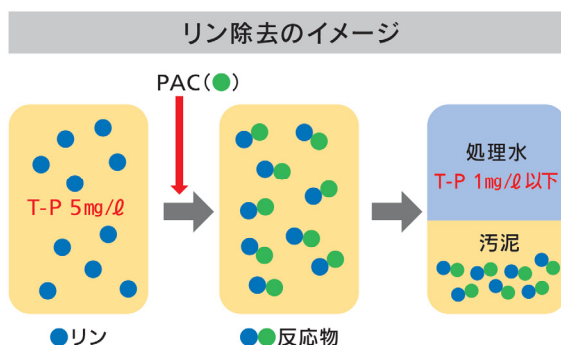
- 幅575mm
- 奥行485mm
- 高さ905mm

内部にはポンプ、タイマ、PAC貯留タンク等を内蔵しています。外装は安全面に配慮して、南京錠などで鍵かけられるシャッター仕様となっています。

施工後

<リン除去の仕組み>

リン除去装置内のリン除去剤PAC（ポリ塩化アルミニウム）を浄化槽本体にポンプで自動注入します。注入されたPACと汚水中のリンとが化学反応し、その反応物を槽内で分離することで汚水中のリンが除去されます。



3. 新製品の許認可番号及び仕様表

型 式		XF-5型	XF-7型	XF-10型
人	槽	5	7	10
型 式 認 定 番 号		8-19-H-001	8-19-H-001-1	8-19-H-001-2
型 式 適 合 認 定 番 号		型01Caa0a0054583	型01Caa0a0074584	型01Caa0a0104585
外 槽 材 質		FRP		
有 効 容 量 (m^3)	嫌 気 ろ 床 槽 第 1 室	0.775	1.070	1.635
	嫌 気 ろ 床 槽 第 2 室	0.739	1.049	1.519
	担 体 流 動 槽	0.457	0.627	0.936
	沈 殿 槽	0.352	0.42	0.729
	消 毒 槽	0.023		
	総 容 量	2.346	3.189	4.842
寸 法 (mm)	全 長 ※1	2,330 (2,890)	3,090 (3,650)	2,800 (3,370)
	全 幅	1,140		1,700
	全 高 ※2	1,550 (1,580)		1,860 (1,890)
	流 入 管 底 ※2	250 (280)		300 (330)
	放 流 管 底 ※2	300 (330)		400 (430)
	流 入 管 径	ϕ 100		
	放 流 管 径	ϕ 100		
マ ン ホ ー ル		ϕ 450×3	ϕ 450×3 ϕ 600×1	ϕ 450×1 ϕ 600×2
本 体 重 量 (kg) ※3		250	295	560
ブ ロ ワ	方 式	電磁式		
	電 源 (V)	AC100		
	送 風 量 (L/分)	60	80	100
消 費 電 力 (W) ※4		41	57	101
本 体 価 格 (円・税抜) ※5		950,000 (1,200,000)	1,280,000 (1,530,000)	1,900,000 (2,150,000)

■自然放流ができない場合は、放流ポンプ槽一体型をご用意できます。

※1： () 内は放流ポンプ槽一体型の場合の寸法

※2： () 内はマンホール上端からの寸法

※3： 担体、マンホールを含んだ目安重量

※4： ブロワとリン除去装置の合算

※5： () 内は放流ポンプ槽一体型の場合

4. 処理性能（放流水質）

BOD ※1 : 10 mg/ℓ 以下

COD ※2 : 20 mg/ℓ 以下

SS ※3 : 10 mg/ℓ 以下

T-N ※4 : 10 mg/ℓ 以下

T-P ※5 : 1 mg/ℓ 以下

※1 BOD・・・Biochemical Oxygen Demand（生物化学的酸素要求量）

※2 COD・・・Chemical Oxygen Demand（化学的酸素要求量）

※3 SS・・・Suspended Solids（浮遊物質）

※4 T-N・・・Total Nitrogen（全窒素）

※5 T-P・・・Total Phosphorus（全リン）

4. 今後のスケジュール

2019年3月1日発売

5. 新製品の売上への影響

2019年12月期の連結に与える影響はございません。

以上

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社ダイキアクシス 環境機器事業本部 生産事業部 小山 泰史

TEL : 089-927-1889 FAX : 089-927-1973